

# こもれび



平成24年7月から2年をかけて行ってきた第I期～第III期施設機能強化工事が今年の5月末日をもって落成となりました。落成により、重度高齢化と多様な利用者ニーズに対応できるエリアの充実と、新規事業（概要は2ページより）の陽だまりキッズ（放課後等デイサービス、児童発達支援事業）を開始する運びとなりました。

工事期間中は利用者及び関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。これからも職員一同、「やすらぎ・ぬくもり・ふれあい」をモットーに支援を行ってまいります。

社会福祉法人 明和会 陽だまりの里 編集・発行責任者 井上 明秀

〒834-0015 福岡県八女市本2575-1 TEL 0943-30-3055 FAX 0943-23-0750

ホームページ: <http://www.hidamarinosato.or.jp/> メールアドレス: [hidamarinosato@sunny.ocn.ne.jp](mailto:hidamarinosato@sunny.ocn.ne.jp)

## 職員紹介

生活支援員 井手 瑞菜



陽だまりの里に入社して2年がたち、今年で3年目となりました。最初に配属された日中活動支援部で、ピュア陽だまりの里を担当していますが、ピュア以外の利用者さんにもだんだんと顔を覚えてもらい、自分から挨拶すると笑顔の挨拶が返ってくるのがとてもうれいしです。日中活動等、利用者さんと一緒に出来る活動がとても楽しく、笑顔を見るのが私の何よりの楽しみとなっています。

私が入社してから2年の間、機能強化事業で、沢山の変化がありました。浴室は広くなり新しい入浴設備が整い、今私たちが活動しているピュアルームも広く生まれ変わりました。今年度は陽だまりキッズも開所し、隣のフロアから児童さんたちのにぎやかで楽しそうな声が聞こえてくる、ますます暖かな陽だまりの里になりました。これからは皆さんももっと楽しいことをしていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

障害者サポートセンター陽だまりの里 相談支援員 土谷 翔大



こんにちは。サポートセンター陽だまりの里に勤務している土谷翔大（ツチャショウタ）です。入社して3年目に入り、現在は、ホームヘルプ、相談支援、グループホーム等を兼務しています。

日々の業務の中で、利用者さんやそのご家族、関係機関との関わり等が増えてくるようになって、毎日いい刺激をもらいながら仕事をさせてもらっています。まだまだ知識や経験も足りませんが、少しずつ皆さんに安心してもらえるような職員になりたいと思っています。

私は、小学生の頃から野球をやっている、現在も陽だまりの里の野球部に所属しています。野球は皆と喜びを分かち合うことができるスポーツで、楽しく過ごさせてもらっています。これからも陽だまりの里の一員として、職員さんや利用者さん、ご家族の方、地域の方々と一緒に成長していきたいながら、「日々向上」をモットーに頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

陽だまり工房

職業指導員 江藤 佑



今年4月21日から工房で働いている江藤佑です。名前の読み方は「たぐす」と読みますのでくれぐれもお間違えの無いようお願いいたします。入社して今月で3ヶ月になりますがまだまだ覚えていくことがたくさんあります。送迎も少しずつ覚えて行きたいし、パン作業も粉から作るということまで考えていかなければなりませんので課題が尽きません。しかし、課題がある・仕事してもらえるとすることは大変嬉しいことなので、その期待に応えるべく日々頑張ろうと思っています。このようにやりがいのある仕事・職場だと本気で感じたのは陽だまりの里が初めてなので、この気持ちを忘れないようにしていきます。趣味ですが歌・吹奏楽・アニメ・温泉めぐりなど特技を含めて色々ありますので、聞きたいことなどありましたらどしどし聞きに来てください。ね！そんなこんなでこれから先もご迷惑などおかけすることが多々あるかと思いますが、改めてよろしくお願ひします。

## 編集後記

ムシムシジトジトする梅雨時期は、不快指数も一気に上昇しましたね。とはいえ、作物、私たちにとっても欠かせない恵みの雨でもありますので、あまり雨を悪く言うのも気が引けます。そんな梅雨も終わり、次は熱中症が心配になります。

熱中症は、夏の強い日射しの下で激しい運動や作業をする時だけでなく、身体が暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。また屋外だけでなく、高温多湿の室内で過ごしている時にもみられます。症状が深刻なときは命に関わることもあります。正しい知識があれば予防することができます。熱中症を知り、自分でできる熱中症対策を心がけましょう。

今回の「こもれび」はいかがだったでしょうか。この回より、QCサークル広報員会（広報誌、情報誌、ホームページ）を中心に作成しました。利用者視点、利用者家族視点、陽だまりの里をまだ知らない方の視点で、陽だまりの里を知って欲しい一心で作成しました。

これからも、皆さんに必要な情報をスピードを持って、スリムに、解りやすくスペシャリストでお伝えしていきます。



# ☆陽だまりキッズ☆

【新事業開設のおもい】  
 陽だまりの里は開設から13年目を迎えこれまでの経験を生かし、お子様たちの「やさしい笑顔」「明るい笑い声」が集う、癒しとわくわくする空間を目指します。陽だまりキッズに来られるお子様、そしてご家族の方々に安心・やすらぎを与えられるよう、療育面、医療面を考慮したサービス内容を提供し、お子様と共に成長していく姿勢を基に支援に取り組んでいきます。

【サービスについて】

○児童発達支援事業  
 対象者：2歳～就学前  
 サービス提供時間：10：00～14：00  
 サービス内容：日常生活に必要な基本的動作の支援  
 知識向上支援、集団生活への適応支援

○放課後等デイサービス  
 対象者：就学後～18歳未満  
 サービス提供時間：（授業終了後）15：00～18：00  
 （学校休業日）10：00～16：00  
 サービス内容：授業終了後、学校休業日に生活能力向上の為、社会との交流その他の支援

時間	内容
8：30～10：00	保護者送り
10：00～10：30	朝の集い
10：30～11：50	自由活動（音楽療法含む）
12：00～13：00	昼食、休憩
13：10～13：40	自由活動（創作活動等）
14：00～	帰りの準備、保護者迎え

（授業終了後）

時間	内容
	学校等へのお迎え
15：00～15：30	陽だまりキッズ到着
15：30～	着替え、水分補給、おやつ宿題、自由活動
18：00～	ご自宅への送迎（家族迎え）

（学校休業日）

時間	内容
8：30～10：00	保護者送り
10：00～10：30	朝の集い
10：30～11：50	自由活動（音楽療法含む）
12：00～13：00	昼食、休憩
13：10～15：00	自由活動（創作活動等）
15：00～15：30	帰りの準備、保護者迎え
	保護者迎え（送迎）

- 【年間行事】  
 （次年度からの予定）
- ★保護者の方々との交流会（年3回）
  - ★陽だまりキャンプ（年1回）
  - ★お仕事体験（陽だまり工房での職場体験）
  - ★クリスマス会
  - ★お泊り体験（春休み、夏休み等）

【療育について】  
 「療育」という言葉は「訓練し、しょうがい克服する」というイメージがありますが、本来の意味はしょうがいを持ちつつ、成長するお子様を色々な面から支える総合的な取り組みにあると考えます。福祉器具、環境の整備によってお子様の力を確かめ、その力を伸ばす発達を促すことを試みます。

【大切にしたいこと】  
 安心・よろこび・そしてやすらぎを日々の生活の中から  
 お子様たちの潜在力を最大限に発見することです。



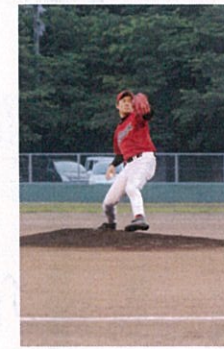
## クラブ紹介

### 野球部

野球部は月2回、夕方6時半から9時まで春の山グラウンドを主に練習場としてみんなで楽しく活動をしています。部員は選手が12名、マネージャーが6名と少ないですが少ないなりに限られた練習の時には楽しく、時には真剣に行なっています。

大会は毎年10月に行われ、前回の沖縄大会では接戦を制し、見事優勝を輝きました。今回こそは優勝を狙えるように頑張っていきたいと思えます。

野球部では経験者はもちろんの事、初心者も男女問わず募集しています。人が集まればもっと楽しい野球部になると思うので、皆さんの入部を心から待っています。



### バレー部



2月に陽だまりの里主催で「陽だまり杯」を実施しました。

地域との交流を大事にするバレー部は、各個人も様々なチームと練習をしています。

その甲斐もあり、多くのチームを集めることができ、大盛況のなか実施することが出来ました。今後はもっとたくさんの方々とのバレーを通して交流ができることを願っています。

参加して頂いた皆様、準備、応援をして頂いた皆様、ありがとうございます。これからも陽だまりバレー部をよろしくお願ひします。

### マラソン部

皆さんこんにちは、マラソン部です。マラソン部ができて約半年位が過ぎようとしています。その間、八女や大川・久留米等の筑後地区のマラソン大会を始め、福岡・佐賀・熊本の九州圏内や九州圏外まで遠征して参加をしています。マラソン部のメンバーやそれ以外のメンバーも10キロを始め、ハーフやフルに挑戦する方もいます。マラソンはきついかもしれませんが、その場所の変わりゆく風景を見ながら走って、ゴールした時の達成感は感動もあり、嬉しさや喜びもあります。

是非皆さんもマラソンに参加をして、心地良い汗を一緒にかきましょう。



# ☆☆陽だまりキッズ☆☆



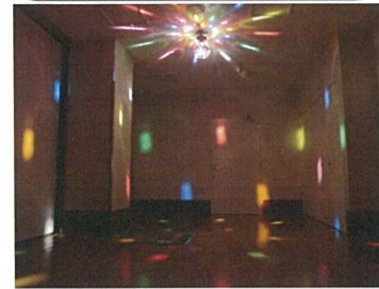
洗面台  
お子様方に合わせた高さに洗面所を設置しています。



くつ箱  
一人ひとりの名前が記載され、ご自身で靴を入れてもらいます。



玄関  
陽だまりキッズの玄関には、インターホンが設置されています。



リラクゼーションルーム  
ミラーボールやプラネタリウムなどを使用し、リラックスしてもらうお部屋です。



プレイルーム2  
ボールプールや積み木などそれぞれお子様に選んでもらい自由に遊べるお部屋です！



プレイルーム1  
朝の集いや昼食などを摂るお部屋です。ゆっくり過ごしてもらう事ができます。

## 活動ルーム

### 担当職員紹介



日中活動支援部 部長 大竹 光

4月21日より日中活動支援部の部長をさせていただいています。大竹で  
日中活動支援部には生活介護事業（ピュア・モア）就労系事業（陽だまり工房）放課後等デイサービス・児童発達支援事業（陽だまりキッズ）の4つの事業所で構成され130人近くのスタッフが各事業に登録されており、今年、陽だまりキッズの開所にあたっては、1月に準備室を開室し、事業をどういう風に進めていくのかなど色々な話し合いを設けてきました。準備室を開室し、キーワードとして使ってきた言葉は「安心」という言葉でした。



陽だまりキッズに来られる子供さんたち・親御さんたちに「安心」を感じていただけるような施設づくりを心掛け、色んなことを学びながら、どんなことも受け止められる姿勢を忘れないようにしたいと話してきました。  
陽だまりの里開設以来13年が経ち、今年より行動指針として「リ・ポーン」という言葉を掲げています。  
陽だまりの里が「リ・ポーン」を目指していくための第1段階として「陽だまりキッズ」が開所しました。  
陽だまりの里全体でどれだけの「安心」を利用者様、保護者、関係機関の方々に与えられることが出来るかをしっかり考え、行動していきながら事業を進めていこうと考えております。  
これから陽だまりの里は新たな時代を作っていきます。  
私たちは利用者の皆様「安心」して頂く支援を今以上のものにしていくため、支援員としての自覚を忘れず、どんな時も均一したサービスを提供し、そのサービスを継続していきます。  
支援員1人1人が出来ることを最大限に発揮し、利用者の皆様の支えていくことを約束します。

## 第38回 全国身体障害者施設協議会研究大会

テーマ：障害者権利条約批准後の支援について考えよう

期間：平成26年7月29日～30日

会場：神奈川県横浜市「パシフィコ横浜」

日程：1日目

開会式、永年（30年、15年）勤続者表彰、行政説明、基調報告、特別講演、基調講演2回目

実践報告、研究発表、閉会式

参加者：理事長 井上明秀、部長 杉尾邦廣、マネージャー 中島信哉、リーダー 松村真紀子  
生活支援員 山浦公輔

### 出張・研修報告

ピュア陽だまりの里  
リーダー 松村真紀子

横浜の全国身体障害者施設協議会に参加しました。1,500人の参加とあり、みなとみらいの大会議室にて1日目は講演会、2日目は研究発表会があり盛りだくさんの研修となりました。  
まず、1日目の講演会ではパネラーが入り替わり、これからの福祉についての講演や法律、権利擁護の問題等をあらゆる角度から話をされ、興味深い内容でした。なかでも福祉ジャーナリストの町永氏の話はこれからの日本の福祉を考える良い機会となりました。いかに個人を尊重し、これからの支援につなげていくのか私たち介護従事者や医療従事者などが一体となり、地域での暮らしを大切に考え、支えあっていくべきであると考えました。  
難しい問題はたくさんありますが、皆同じ人であるという事、特別視しなくても自然に一緒に暮らすという当たり前の事ができる世の中に少しずつ近づいていけたらきっと豊かな日本の未来が見えてくるのではないかと思います。



障害者支援施設 カーサ陽だまりの里  
生活支援員 山浦公輔

横浜で「全国身体障害者施設協議会研究大会」に参加しました。初の参加でしたが、とてもためになる見学が出来ました。  
その中でも、全国の身体障害者施設で課題になっている事の一つに、利用者の高齢による重症化やADL（日常生活動作）の低下があります。その中でも、嚥下機能が低下し、誤嚥性肺炎を起こしてしまいます。誤嚥性肺炎を防ぐために、口腔ケアが今まで以上に大事になってきています。電動歯ブラシを導入したり、うがいを緑茶で行っている施設もありました。「バタカラ」という発声訓練も口腔機能の訓練になります。口腔機能の向上が進めば、食べる・話す等の意欲が向上し、生活が豊かになります。排泄・入浴・食事比べて軽視されがちで口腔ケアですが、利用者一人一人の事をきちんと考えながら日々のケアに努めたいと思いました。



# ☆☆☆陽だまりキッズ☆☆☆

児童発達支援管理責任者  
姫野 里美



陽だまりキッズの姫野里美です。6月に陽だまりキッズがオープンし、今までに増して賑やかな日々を過ごしています。新しい活動の場所もでき、制服もオレンジに統一し、気持ち新たに6月1日を迎えました。オープ

ンするまでは、不安もありましたが、実際にオープンの日を迎え、たくさんの方の笑顔を見て、「どうしたら陽だまりキッズがより良くなるといえるだろうか」「もっと楽しく安心して利用していただくためにはどうしたらいいだろうか」と、不安よりも意欲が湧いてきます。児童さんやご家族からのお言葉や笑顔、陽だまりの里の職員からの援助や励ましの言葉に、いつも元氣と勇気をもらっています。本当にありがとうございます。まだまだオープンして日が浅く課題もありますが、利用者みなさんとご家族の声をしっかりと受け止め、日々成長していきたいと思っております。これからも、宜しくお願いいたします。

なっ休み ひだまりキッズカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
7月19日 シャボン玉 うたあそび	20日 うたあそび	21日 うたあそび	22日 うたあそび	23日 うたあそび	24日 うたあそび	25日 うたあそび
26日 うたあそび	27日 うたあそび	28日 うたあそび	29日 うたあそび	30日 うたあそび	31日 うたあそび	8月1日 うたあそび

★シャボン玉ハウスをつくらう!!

午後からはプールを行います。水着の用意をお願いします。雨天の場合は臨時変更に対応します。日中活動では大人の方と一緒に遊ぶ活動(手話サークル、職業体験等)への参加も行う予定です。

## 取組紹介

### 音楽療法

音楽療法とは、音楽の力を借りて治療的に活用することをいいます。例えば、腕が上がりにくい方が、音楽を使って楽器を演奏しようとする。腕が上がったり、話し言葉が出にくい方が言葉の歌にするとスムーズに言葉が出たりと、音楽療法では様々な効果が確認されています。

現在の音楽療法は、週1回30分程度の個人セッションが約15名、集団セッションは4事業で実践されています。個人セッションは、音楽療法士が必要と思われた方や、本人やご家族の希望により実践しています。音楽は知的過程を通らずに情動に働きかける為、他では見られない様々なことが期待できます。

今年から音楽療法士が2名体制になり、より綿密な関わりができてくると思います。皆さんの笑顔のパワーを借りて、これからも頑張っていきたいと思っております。

## 理学療法

理学療法とは、身体障がいのある方に対して、主として基本動作能力の回復を図るため、治療体操などの運動(運動療法)、電気治療やマッサージ(物理療法)を行うことを言います。

陽だまりの里では、平成26年4月より、理学療法士2名を配置しました。利用者ニーズにお応えできるよう、設備等も含め、現在はまだ準備段階ではありますが、徐々に個別でのリハビリを実施しています。

利用者の身体機能維持・改善を目標に、利用者本人そしてそのご家族が少しでも楽になれるように、今後取り組んでいきます。

【方法・手段】  
主な手技は、上田法、NDT(ポバース概念)、筋膜リリースなど



【理学療法の主な対象】

- 一般整形 (頸椎症、腰痛など)
- 中枢疾患 (脳梗塞、脳性まひなど)

- ビュー陽だまりの里  
時間：10時～15時15分  
場所：ビュールーム
- モア陽だまりの里  
時間：10時半から14時45分  
場所：モアルーム
- 陽だまりキッズ  
時間：16時～17時  
場所：プレイルーム2

# 準備が整いました



マネージャー 松尾 泰裕

生活支援員 酒井 万実

6月1日から陽だまりキッズへ配属になりました松尾です。元々日中一時支援の担当で、児童さんとの関わりも多くさせていたただいていましたが、今回の「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス」の事業開始に伴い、環境や人員の

整備により児童さんの新たな一面を見ていることを楽しみにしています。これまで児童さんとの関わりでさまざまな経験をしてきましたが、やはり介護の原点である「人と人との関わり」が大切だと思います。約8年陽だまりの里勤務の中で数えきれないほど楽しい経験や辛い経験をしてきました。今の自分があるのも共に過ごしていた利用者との関わりがあったからだと思っております。この陽だまりキッズでも児童さんと共に成長していきたい、たくさんの方の「安心」や温かい「ぬくもり」を与えられるような職員になつていきたいし、たくさんの方の児童さんからの「気持ち」を受け止めていければいいなと思います。今後ともよろしくお願いたします。

6月より「陽だまりキッズ」を担当致します。酒井万実です。昨年度、陽だまりの里に入社し、日中一時支援事業に配属され、6月より始動した陽だまりキッズに配属となりました。増設されたスノーズレンルーム等の部屋に入り、新しい物を見る児童さんの目の輝きがとても印象

に残ります。私は日中活動等を通して表れる児童さんの笑顔に生きている活力を感じながら、支援させて頂いています。児童さんの笑顔は何物にも代えられない輝きであると感じます。その笑顔をずっと続けてもらえるよう、さまざまな支援を提供し、一人一人の可能性を広げていく事が自分の役割であると考えています。児童の成長の部分、出来る事が増えた瞬間を見逃す事なく、ご本人が自身の長所を伸ばす事に喜びを感じてもらえるような支援を行っていきたいと思っております。ご家族の思いをきちんと理解し、みんな「一日一歩」できるように、頑張っていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

【総括】  
平成25年度の障害福祉は、国が国連障害者権利条約を平成26年1月20日に批准し、2月19日には発効するという障害者福祉における大きな節目の年となった。「私たちのことを私たちが決めないで」という障害当事者主体の理念が今後の障害者福祉の向上に好影響を及ぼすことを期待したい。

そのような中、本法人は利用者サービスさらなる向上を進めるため、「モア・チャレンジ 陽だまりの里」を合言葉に様々な取り組みを行った。利用者サービスにおいては、個別支援計画に基づく個別ニーズへの対応を強化するために、職員の加配を進めて利用者満足を目指した。各種会議や委員会においては、施設運営におけるガバナンスを確立し、リスクマネジメントを強化した。さらに、重度高齢化への対応を強化するため、医務部門を強化して看護師の加配を行い、入所と在宅を分けた組織で専門性を高めた。また、管理栄養士による栄養管理の充実を進め、機能訓練にお



貸借対照表

平成26年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	254,411,159	流動負債	16,238,352
固定資産	698,311,584	固定負債	160,570,000
基本財産	579,460,346	負債の部合計	176,808,352
その他の固定資産	118,851,238	純資産の部	
		基本金	115,627,549
		国庫補助金等特別積立金	216,842,579
		その他の積立金	27,200,000
		次期繰越活動収支差額	416,244,263
		(うち当期活動収支差額)	38,348,396
		純資産の部合計	775,914,391
資産の部合計	952,722,743	負債及び純資産の部合計	952,722,743

事業活動収支計算書

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

勘定科目	本年度決算
<b>事業活動収支の部</b>	
就労支援事業活動収入計(1)	7,801,145
就労支援事業活動支出計(2)	9,233,702
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	△1,432,557
福祉事業活動収入計(4)	512,048,837
福祉事業活動支出計(5)	472,307,295
福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	39,741,542
<b>事業活動外収支の部</b>	
事業活動外収入計(7)	59,636,558
事業活動外支出計(8)	61,933,377
事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	△2,296,819
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	36,012,166
<b>特別収支の部</b>	
特別収入計(11)	5,918,335
特別支出計(12)	3,582,105
特別収支差額(13)=(11)-(12)	2,336,230
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	38,348,396
<b>繰越活動収支差額の部</b>	
前期繰越活動収支差額(15)	333,895,867
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	372,244,263
その他の積立金積立額(17)	44,000,000
次期繰越活動収支差額(18)=(16)+(17)	416,244,263



平成25年度事業報告

【総括】  
平成25年度の障害福祉は、国が国連障害者権利条約を平成26年1月20日に批准し、2月19日には発効するという障害者福祉における大きな節目の年となった。「私たちのことを私たちが決めないで」という障害当事者主体の理念が今後の障害者福祉の向上に好影響を及ぼすことを期待したい。

また、施設機能については、二年を掛けて行ってきた一期から三期の施設の機能強化工事を新年度の5月には完成するスケジュールで進めた。そのことにより、重度高齢化と多様な利用者ニーズに対応できる体制作りは確立できたが、事業実績においては、ピュア陽だまりの里の利用者の入院や逝去などによる利用者減少を陽だまり工場の新規利用者の増加と短期入所の利用実績増でカバーするにとどまり、法人全体としても、前年実績とほぼ同様の事業実績となった。

【平成25年度法人の決算状況】

財産目録

平成26年3月31日現在

資産・負債の内訳	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	254,411,159
2. 固定資産	698,311,584
資産合計	952,722,743
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	16,238,352
2. 固定負債	160,570,000
負債合計	176,808,352
差引純資産	775,914,391



利用者紹介

井上貴喜(イノウエヨシキ)さん  
高校卒業後、陽だまり工房と陽だまりホームを利用されています。



グループホームに入居してから、何でも自分でできるようにになりました。周りの人の刺激をたくさんもらって、家にいた時より大人びて見えます。これからも貴喜の成長が楽しみです。(母より)

グループホームに入居してから、何でも自分でできるようにになりました。周りの人の刺激をたくさんもらって、家にいた時より大人びて見えます。これからも貴喜の成長が楽しみです。(母より)

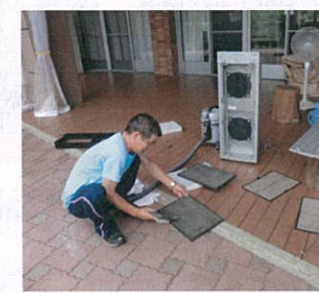
職員紹介

陽だまりの里には、送迎車の運転専任のゴールドさんという方がおられるのをご存知ですか？

ゴールドさん達は、運転の他にも、陽だまりの里を足元から支える「緑の下」のちからもち」として、活躍されています。例えば、いつもきれいな陽だまりの里の、外観の掃除をしてくれているのは、ゴールドさん達です。毎朝早くから皆さんで、清掃活動をしてくださり、それから安全運転で送迎に出られています。

また、緑豊かな施設の植木や花も、ゴールドさん達の力により綺麗に保たれ、利用者さん達の心を癒したり、楽しませたりしています。四季折々の花々を楽しむ事が出来る素敵で陽だまりの里を作ってくれています。

このほかにも、グループホームのクレーンの清掃や、陽だまりの里で開催しているハートウォッシュのおもてなし等、私たち支援員の手の届かない部分の小さな事から大きな事まで担ってくれている、なくてはならない存在です。私たちにあってゴールドさん達は、おちやめで家族の様な暖かさを持つ、人生の大先輩です。これからも、よろしくお願ひします！



我々グループ一同、がんばって陽だまりの「緑」の下作りです。

# ピュア陽だまりの里

ティラミスを作りました♪  
美味しくできました



## 新聞紙野球大会!



## ゆめタウンへ

## モア陽だまり里

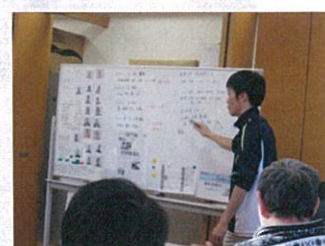


## 吉野ヶ里遺跡へ行ってきました! 弥生人にへんしん!!



## 陶芸教室★素敵な作品です

## 音楽療法♪ トーンチャイム



## 全体ミーティング・・・ 皆で頑張りましょう



## カーサ陽だまりの里

## 黒木藤見学へいきました!!



## アイスも美味しかったです

## 陽だまりホーム



## 紫陽花を観にいきました

## 皆でBBQをしました! 天気も良く最高でしたね



## 土日は、料理作りや外出、お庭では家庭菜園も始めました

## 陽だまり工房



## 美味しいラスク